

## 学生シンポジウムGS01

創薬を目指す若手薬学研究者の挑戦

～病態モデルと薬効評価による治療戦略への薬理的展開～

**Challenges of Young Pharmaceutical Researchers Aiming for Drug Development**

**～Pharmacological Development for Therapeutical Strategy by Using Pathological Models and Evaluation of Drug Efficacy～**

石田 茂<sup>1</sup>, 川浦 一見<sup>2</sup>

<sup>1</sup>岡山大院薬, <sup>2</sup>熊本大院薬

本邦は現在、高度情報化社会とともに超高齢社会に直面しており、精神神経疾患やメタボリックシンドロームなどの慢性疾患の増加が重大な社会問題となっている。これらの疾患の最適な治療、患者 QOL の改善のために、新薬開発や創薬戦略を展開することは重要であり、この点において薬学研究者による薬学的アプローチが果たす役割は大きい。本シンポジウムでは、薬学分野からの新たな創薬戦略の発信に挑戦し、最先端の薬学研究を情熱的に行っている6名の大学院生による講演を予定している。新薬開発・病態解明に向けた新たな創薬戦略への基盤となりうる薬学研究をキーワードに、様々な角度からの研究の最新情報を講演していただく。1つ1つのテーマは一見異なるようでも、多角的な視点から俯瞰し、積極的に議論することで、新たな戦略や仮説を創出し、創薬戦略に発展させることが可能になると考えられる。同時に、研究成果による薬学的な情報の共有化のみならず、積極的な意見交換を通じた若手研究者の人的交流の活性化を図り、将来の創薬研究および薬学分野のさらなる発展・展開に寄与しうるシンポジウムとしたいと考えている。大学院生・若手研究者らしい、新鮮なシンポジウムとなることを期待している。